

第9回全国高等学校情報教育研究会 全国大会(神奈川大会)の報告

1. はじめに

第9回全国高等学校情報教育研究会¹⁾全国大会(神奈川大会)が、8月8日(月)、9日(火)の2日間に渡って専修大学生田キャンパス(神奈川県川崎市)を会場に、文部科学省や神奈川県教育委員会など、多くの後援や協賛のもと開催された。教員、大学・企業関係者等約260名の参加者によって、熱い研究協議が行われた。

2. 大会概要

【テーマ】

「情報教育の本質を見極める ～挑戦し続ける現場からの発信～」

【日時】

平成28年8月8日(月)13:00～9日(火)15:30

【会場】 専修大学生田キャンパス(神奈川県川崎市)

【主催】 全国高等学校情報教育研究会

【共催】 神奈川県高等学校教科研究会情報部会

【後援】 文部科学省、神奈川県教育委員会 他

【大会 URL】 <http://www.zenkojoken.jp/09kanagawa/>

【プログラム】

○8月8日(月)

11:30～ 受付

12:30～ 全国高等学校情報教育研究会総会

13:00～ 開会行事

基調講演

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
セキュリティ・情報化推進部 金田 賢伊知氏

14:30～ ライトニングトーク

15:30～ ポスターセッション・企業展示

17:15～ 教育懇談会

○8月9日(火)

8:00～ 受付

8:30～ 分科会・企業展示

14:20～ 全体会

講評・講演

国立教育政策研究所 教育課程調査官

文部科学省 初等中等教育局 教科調査官

生涯学習政策局 教科調査官

鹿野 利春 先生

15:20～ 閉会行事

3. 大会の様子

(1) 基調講演

開会挨拶や来賓祝辞のあと、宇宙航空研究開発機構(JAXA)セキュリティ・情報化推進部の金田賢伊知氏による「宇宙開発とIT～ITが宇宙開発を支え、宇宙開発が生活を変える～」という基調講演で大会がスタートした。

宇宙開発とITの関わりとして、数値シミュレーション、VR(バーチャルリアリティ)技術、AI(人工知能)などについてお話しになった。数値シミュレーションはエンジンの開発などにも使われているそうである。

講演の最後で、「これから求められるのは、道がなかったらあきらめるのではなく、どうしたらいいかアイデアを考え、自分で道を作る人材である。目標を高く設定し、膨らむ課題を解決していくことの繰り返しを若いときからどんどんやるのが大切で、特に、創造性、課題設定力、論理的思考力の3つは大事である。これらを養い、人として社会の中に価値を生み出してほしいし、そういう人材を育成してほしい。」とまとめられた。

(2) ライトニングトーク

京都大会から希望者による1人3分で始まったライトニングトークは、今大会では分科会発表者全員による1人1分30秒での発表となった。ステージ



図1 開会行事(左)と基調講演(右)の様子

の左側に発表者の氏名や分科会発表のタイトル・時間・会場が、右側に残り時間がわかるタイマーが表示されるなどの工夫がされていた。また、発表を聞いて明日の分科会に行ってみたい人に「おはじき」で投票するという新たな試みもあった。リハーサルはなかったらしく、うまく機器が繋がらずに用意したスライドが表示できない発表者もいた。限られた時間で何をどのように発表するかという、これまでとは違った工夫が発表者に求められる気がした。



図2 ライトニングトークの様子

(3) ポスターセッション・企業展示

15件の発表のうち、プログラミングの実践報告やプログラミング学習支援システム、オンラインプログラミング環境など、プログラミングに関する発表が7件あった。小型ボードコンピュータやセンサの活用、プログラム作品の評価、学習状況の管理、授業支援の機能など、今後必須となるプログラミング教育について様々なアプローチの発表があった。大学関係者からの発表も5件あり、情報教育への関心の高さを感じた。

ポスターセッションと同じフロアで企業展示も行われた。教科書会社やソフトウェア関係の他、プログラミングに関係する展示もあった。



図3 ポスターセッション(左)・企業展示(右)の様子

(4) 分科会

分科会は例年よりも発表数が少し多く、発表時間も30分(質疑・入れ替えを含む)に設定されていた。そのため、8:30からと少し早めの開始であったが、発表はじっくりと聞くことができた。

第1分科会にはプログラミング関連の発表(8件)がまとめられており、ここでもプログラミング教育

への流れが感じられた。第2分科会ではメディア・リテラシーや情報モラルなど、第3分科会では問題解決型の授業など、第4分科会では若手分科会(6件)を中心にした発表などの合計36件の発表があった。なお、大会Webサイトに発表スライドや資料がアップされているので参照してほしい。



図4 分科会発表の様子

(5) 全体会(講評・講演)

昨年に引き続き、文部科学省の鹿野利春教科調査官から、大会を振り返っての講評と、現在検討が進められている次期学習指導要領や高大接続改革等についての講演をいただいた。小学校段階におけるプログラミング教育の動きについてもお話しになった。

今後に向けて深めていきたいこととして、アクティブ・ラーニングの視点での授業改善や、観点別評価と指導についての話で講演をまとめられた。



図5 講評・講演の様子

4. おわりに

10回目の節目となる来年度の全国大会は、平成29年8月9日(水)、10日(木)に、電気通信大学(東京都調布市)で開催される。第10回の記念大会ということで、かなり早めに準備が進められているようであり、また、メモリアル企画も検討されているようである。来年の大会で、素晴らしい実践や研究が聞けることを楽しみに待ちたい。

参考 URL

- 「全国高等学校情報教育研究会」
<http://www.zenkojoken.jp/>